

「産業界は、大学の『農芸化学』に対して

どのような研究と人材育成を望んでいるか？」

日時 2011年3月26日(土) 14:45~17:00

会場 京都女子大学 | 会場 (Q校舎301)

主催 社団法人日本農芸化学会 「産学官学術交流委員会」、
「産学官若手交流会(さんわか)」

■ 講演 「経営トップから見た農芸化学」

協和発酵キリン株式会社 代表取締役社長 松田 譲 氏

池田糖化工業株式会社 代表取締役社長 池田 直之 氏

■ パネルディスカッション

「農芸化学が真の実学として発展し続けるためには今何が必要か」

パネラー 松田 譲 氏、池田 直之 氏、
幹 渉 氏 (産学官学術交流委員会担当理事)

司会 石井 茂孝 氏 (産学官学術交流委員会委員長)

農芸化学出身の社長に聴く、将来の農芸化学！

「農芸化学」は、産学官連携を軸に実学として発展してきた学問です。一方で、「最近の農芸化学の産学官連携に元気が無い」と言われます。それは何故なのでしょう？本シンポジウムでは、農芸化学ご出身で現在経営トップとしてご活躍されている先生方に、企業における農芸化学分野の研究・開発の事例をご紹介いただきます。そして、現在の農芸化学に対する本音を伺い、企業が大学の農芸化学の研究・人材育成に何を望むかをご講演いただき、将来の農芸化学の目指すべき姿を考察する機会にしたいと思います。

- ・ 「農芸化学」研究者を志す学生さん、
「農芸化学」分野に就職を希望する学生さん
- ・ 「農芸化学」の研究・教育に迷える大学の先生方
- ・ 「農芸化学」分野の大学との付き合いに悩まれている企業の方

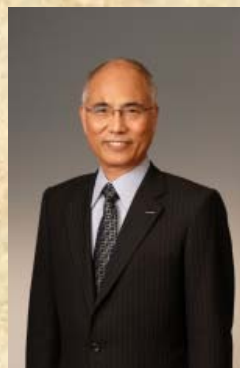
このような方々、必聴です！ご来場をお待ちしております。

講演者、パネラー、司会者のご紹介

松田 譲 氏

略歴

1977年3月 東京大学大学院 農学系研究科博士課程修了 農学博士
1977年4月 協和発酵工業株式会社に入社
1985年3月 米国立衛生研究所 派遣(1986年6月まで)
1985年4月 同社 東京研究所 主任研究員
1996年4月 同社 東京研究所 研究推進室長 兼 安全環境管理室長
1999年6月 同社 富士工場 医薬総合研究所 探索研究所長
2000年6月 同社 執行役員 医薬総合研究所長
2002年6月 同社 常務取締役 総合企画室長
2003年6月 同社 代表取締役社長
2008年10月 協和発酵キリン株式会社 代表取締役社長(現)



池田 直之 氏

略歴

1989年3月 京都大学農学部食品工学科卒
1989年4月 池田糖化工業株式会社入社
1989年10月 同社 製造部
1992年4月 同社 システム部
1993年4月 同社 総務部総務課
2000年4月 同社 総合企画室室長
2001年7月 同社 取締役就任
2003年7月 同社 専務取締役就任
2009年7月 同社 代表取締役社長就任



幹 渉 氏

略歴

1985年3月 東京大学大学院 農学系研究科博士課程修了 農学博士
1985年 財団法人サントリー生物有機科学研究所に入所
1990年 株式会社海洋バイオテクノロジー研究所 研究室長
1994年～ サントリー株式会社勤務
この間、研究所長・開発部長等歴任(2006年まで)
2006年 富士化学工業株式会社 取締役副社長(2007年まで)
2006年～ 山形大学大学院理工学研究科 客員教授
2007年～ 株式会社M&K 代表取締役社長
2010年～ 三重大学大学院生物資源学研究科 教授

石井 茂孝 氏

略歴

1963年3月 東北大学 農学部卒業
1963年4月 野田醤油株式会社【現キッコーマン株式会社】入社 研究所勤務
1990年 財団法人野田産業科学研究所出向・所長
1993年 キッコーマン株式会社 バイオケミカル事業部長
1996年 同社 取締役・研究本部長
2006年6月 財団法人野田産業科学研究所 副理事長兼専務理事

第3部 ポスターディスカッション「高付加価値化のススメ」のご案内

産学官学術交流会 第2部シンポジウム 終了後すぐ(17:20～) A 校舎地下 食堂にて開催

本企画では、新しい価値の創造を目指した創意工夫/産学官連携による研究開発の推進について、さんわか独自に全国から選出しました21例を紹介し、実学としての農芸化学が高付加価値化に役立っていることを、改めて知り学ぶ機会にしたいと考えています。

本企画は乾杯をもって開始します。

お酒を酌み交わしながら、農芸化学の未来を語り合しましょう！



発表演題等、詳しい内容は大会要旨集、さんわかHP(<http://www.jsbba.or.jp/event/sanwaka/>)をご覧ください。